

2011年 1 月30日 実施

平成22年度（第44回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 筆記試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は 6 ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 電卓などの計算用具は使用できません。
5. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
6. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
7. 制限時間は30分です。

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. ディスプレイ装置に、文字や画像などを表示する際に用いる記憶装置。この容量が、表示可能な色数や画面の解像度に関係する。
2. メールサーバのメールボックスから電子メールを受信するために用いるプロトコル。
3. CPUや主記憶装置の動作の基準となる信号。1秒間に発生させる回数をHz（ヘルツ）で表す。
4. 電子メールや電子商取引において、送信されるデータが正しい送信者からのものであり、途中で改ざんされていないことを証明するもの。
5. コンピュータをネットワークに接続する際に、IPアドレスなどを自動的に割り当てるプロトコル。

解答群

ア. BIOS	イ. 電子署名	ウ. VRAM
エ. POP	オ. NIC	カ. SMTP
キ. XML	ク. MIPS	ケ. DHCP
コ. ゲートウェイ	サ. クロック周波数	シ. SSL

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. キャッシュメモリ 2. DNS 3. 公開鍵暗号方式
4. RAID 5. プロキシサーバ

<B群>

- ア. 信頼性や処理速度を向上させるために、複数台のハードディスク装置を組み合わせで一体化し、全体を1つのディスク装置のように扱うしくみ。
- イ. ネットワークに接続されたコンピュータのIPアドレスとドメイン名を対応させるしくみ。
- ウ. 主記憶装置とハードディスク装置の間に置いて、データ転送を高速にするための記憶装置。ハードディスク装置から読み込んだデータを一時的に蓄えておき、再度同じデータを読み込む際には蓄えたデータを利用する。
- エ. データの暗号化と復号に、同一の鍵を使用する暗号方式。
- オ. CPUと主記憶装置との間に置いて、CPUへデータを高速転送するために用いる記憶装置。使用頻度の高いデータを一時的に記憶しておくことにより、処理を高速化できる。
- カ. データの暗号化と復号に、異なる鍵を使用する暗号方式。
- キ. 音声データをパケットに変換することで、インターネット回線などを音声通話に利用する技術。
- ク. ワードプロソフトの文書や表計算ソフトのワークシートなどを保存し、LANに接続された複数のクライアントで共有して利用するために用いるサーバ。
- ケ. ネットワークを介してファイルを転送するためのプロトコル。HTMLファイルをWebサーバへアップロードする際に使われる。
- コ. LANとインターネットとの間に置き、LAN内部からインターネット上への要求をクライアントの代理として中継するサーバ。キャッシュ機能やファイアウォール機能をもつものが多い。

【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. パレート図を使い、各項目を重要な順に3つのグループに分けて分析する方法。
ア. 回帰分析 イ. ABC分析 ウ. 現状分析
2. 企業内のEUCを利用者側の立場から推進するリーダー。
ア. SAD イ. ANSI ウ. DFD
3. コンピュータシステムのランニングコストに該当するものは、次のうちどれか。
ア. プリンタの印刷用紙やインク等の消耗品費
イ. パソコンの購入費
ウ. コンセントを増設するための電気工事費
4. 排他制御を行った複数の処理が互いにロックをかけることで、相手のロック解除待ち状態が発生してしまい先に進まなくなる状態。
ア. エンティティ イ. 整合性制約 ウ. デッドロック
5. 通信速度が100Mbpsの回線を用いて、1GBのデータを転送するためにかかる時間を計算しなさい。なお、伝送効率は80%とし、その他の外部要因は考えないものとする。
ア. 10秒 イ. 80秒 ウ. 100秒

【4】 次の各問いに答えなさい。

問 1. 次の式の説明として適切なものを選び、記号で答えなさい。

$$=PV(0.4\%/12, 10*12, -40000, 5000000, 0)$$

- ア. 1 か月複利で、年利率0.4% 毎月末に¥40,000ずつ10年間積み立て、¥5,000,000にするために必要な現在価値（最初に預ける金額）を求める。
- イ. 1 か月複利で、月利率0.4% 毎月末に¥40,000ずつ10年間積み立て、¥5,000,000にするために必要な現在価値（最初に預ける金額）を求める。
- ウ. 1 年複利で、年利率0.4% 毎月初めに¥40,000ずつ10年間積み立て、¥5,000,000にするために必要な現在価値（最初に預ける金額）を求める。

問 2. 次の表は、ある映画館の上映予定映画一覧表である。A 列に入力された「作品」を B 列の「種類」と C 列の「タイトル」、D 列の「監督」に分けて表示する。C 4 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1	上映予定映画一覧表			
2				
3	作品	種類	タイトル	監督
4	邦画『踊る先生』四谷太喜	邦画	踊る先生	四谷太喜
5	邦画『その日暮らし』山崎和夫	邦画	その日暮らし	山崎和夫
6	洋画『コットン』レオス・ドゥミ	洋画	コットン	レオス・ドゥミ
7	洋画『AGAIN』ジム・メロン	洋画	AGAIN	ジム・メロン

- ア. $=MID(A4, SEARCH("『", A4)+1, SEARCH("』", A4)-SEARCH("『", A4)+1)$
- イ. $=MID(A4, SEARCH("『", A4)-1, SEARCH("』", A4)-SEARCH("『", A4)-1)$
- ウ. $=MID(A4, SEARCH("『", A4)+1, SEARCH("』", A4)-SEARCH("『", A4)-1)$

問 3. 次の表は、ある高校のバス手配台数計算表である。C 4 には、50 人乗りバスの手配台数を計算するために次の式が設定されている。C 4 に表示される数値として適切なものを選び、記号で答えなさい。

	A	B	C	D
1	バス手配台数計算表			
2				
3	日付	人数	50 人乗り	30 人乗り
4	2011年7月19日	370	※	※
5	2011年7月22日	585	12	0

$$=IF(AND(MOD(B4, 50)>0, MOD(B4, 50)<=30),$$

$$CEILING(B4, 50)/50-1, CEILING(B4, 50)/50)$$

(注) ※印は、値の表記を省略している。

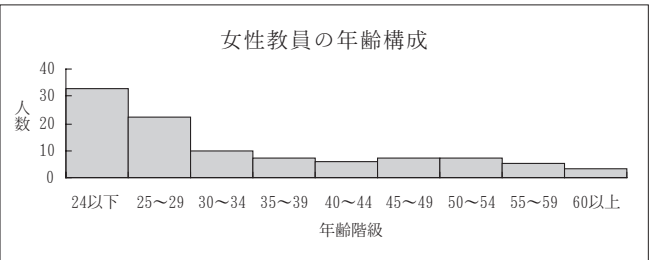
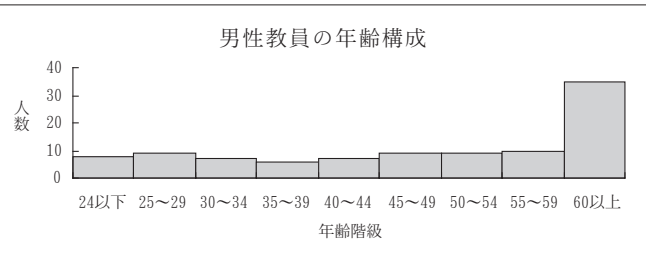
- ア. 6
- イ. 7
- ウ. 8

問 4. 次の表は、あるコミックレンタル店のレンタル料金早見表である。B 8 には、コミックを 1 冊借りたときの料金を求める。B 8 に設定する式として適切なものを選び、記号で答えなさい。ただし、この式を C 57 までコピーするものとする。

	A	B	C
1	レンタル料金表		
2			
3	期間	1 泊 2 日	2 泊 3 日
4	料金	70	90
5	レンタル料金早見表		
6			
7	冊数	1 泊 2 日	2 泊 3 日
8	1	70	90
9	2	140	180
10	3		
11	4		
12	5		
13	6		
14	7		
15	8		
16	9		
17	10		
18	11		
19	12		
20	13		
21	14		
22	15		
23	16		
24	17		
25	18		
26	19		
27	20		
28	21		
29	22		
30	23		
31	24		
32	25		
33	26		
34	27		
35	28		
36	29		
37	30		
38	31		
39	32		
40	33		
41	34		
42	35		
43	36		
44	37		
45	38		
46	39		
47	40		
48	41		
49	42		
50	43		
51	44		
52	45		
53	46		
54	47		
55	48		
56	49		
57	50	3,500	4,500

- ア. $=A\$8*\$B4$
- イ. $=\$A8*\$B4$
- ウ. $=\$A\$8*\$B\4

問 5. 次のグラフは、ある地区の幼稚園における教員の人数を年齢階級ごとに男性と女性に分けてグラフにしたものである。このグラフの名称として適切なものを選び、記号で答えなさい。



- ア. 散布図
- イ. パート図
- ウ. ヒストグラム

【5】 次の表は、オーダーメイドの本棚を取り扱っているある家具店の本棚製作料金計算表である。処理条件にしたがって、各問いの答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。なお、問5については数値を答えなさい。

シート名「本棚製作料金計算表」

	A	B	C	D	E
1					
2	本棚製作料金計算表				
3	2011年1月30日				
4					
5	入力欄		確認欄		
6	高さ	160 cm	OK		
7					
8	幅	140 cm	OK		
9					
10	奥行コード	2	奥深		
11			標準棚板枚数	3 枚	
12					
13	追加棚板枚数	2 枚			
14					
15	配送地域・配送日				
16	配送地域コード	3	配送地域	その他の地域	
17	希望配送日	2月4日	OK		
18					
19	請求金額計算				
20			標準料金	15,700	
21			奥深割増料金（50%）	7,850	
22			追加棚板料金	800	
23			配送料金	2,500	
24			納期割増料金（10%）	2,355	
25			請求金額	29,205	

資料：製作可能な本棚のサイズ（1 cm単位とする）					
高さ		91cm ～ 210cm			
幅		51cm ～ 170cm			

シート名「標準料金表」

	A	B	C	D	E	F
1	標準料金表					
2						
3			幅 (cm)			
4	高さ (cm)	標準棚板枚数	51	81	111	141
5	91	2	7,300	8,400	9,400	10,500
6	121	3	10,500	11,500	12,600	13,600
7	151	3	13,600	14,700	15,700	16,800
8	181	4	15,000	16,000	17,000	18,000
9	一枚あたりの追加棚板料金		200	250	300	400

注 A 5 の 91 は、91cm以上120cm以下、
A 8 の 181 は、181cm以上210cm以下を示している。
注 C 4 の 51 は、51cm以上80cm以下、
F 4 の 141 は、141cm以上170cm以下を示している。

シート名「配送料金表」

	A	B	C
1	配送料金表		
2			
3	配送地域コード	配送地域	配送料金
4	0	東京	0
5	1	神奈川	1,500
6	2	埼玉・千葉	2,000
7	3	その他の地域	2,500

処理条件

- シート名「本棚製作料金計算表」の B 6、B 8、B 10、B 13、B 16、B 17に適切なデータを順に入力すると、請求金額を求めることができる。
- シート名「本棚製作料金計算表」は、次のように作成されている。
 - D 3 には、本日の日付を自動的に表示するために、TODAY関数が入力されている。
 - B 6 の「高さ」、B 8 の「幅」は、資料を参考に入力する。また、D 6、D 8 は、B 6、B 8 の入力データが正しい場合は OK を表示し、そうでない場合は NG を表示する。
 - B 10 の「奥行コード」には、標準の場合は 1、奥深の場合は 2 を入力する。
 - D 10 は、B 10 の入力データが 1 の場合は 標準 を表示し、2 の場合は 奥深 を表示する。それ以外の場合は NG を表示する。ただし、B 10 が未入力の場合は何も表示しない。
 - D 11 の「標準棚板枚数」は、B 6 の「高さ」をもとに、シート名「標準料金表」を参照して表示する。
 - B 13 の「追加棚板枚数」は、追加購入する棚板枚数を入力する。なお、追加しない場合は、0 を入力する。
 - B 16 の「配送地域コード」は、シート名「配送料金表」の配送地域コードを入力する。また、D 16 の「配送地域」は、B 16 の「配送地域コード」をもとに、シート名「配送料金表」を参照して表示する。
 - B 17 の「希望配送日」は、希望する配送日を入力する。ただし、本日を含めて 3 日以内の配送は受け付けない。
 - D 17 は、B 17 の「希望配送日」が、本日を含めて 3 日以内の場合は NG を表示し、そうでない場合は OK を表示する。ただし、B 17 が未入力の場合は何も表示しない。
 - D 20 の「標準料金」は、B 6 の「高さ」、B 8 の「幅」をもとに、シート名「標準料金表」を参照して表示する。ただし、B 6、B 8、B 10 のいずれかが未入力、または、D 6、D 8、D 10 のいずれかが NG の場合は何も表示しない。
 - D 21 の「奥深割増料金 (50%)」は、B 10 の「奥行コード」が 2 の場合は、D 20 の「標準料金」の 50% の金額を表示し、1 の場合は 0 を表示する。ただし、B 10 が未入力、または、D 10 が NG の場合は何も表示しない。
 - D 22 の「追加棚板料金」は、B 10 の「奥行コード」が 1 の場合は、B 8 の「幅」をもとに、シート名「標準料金表」を参照して求めた「一枚あたりの追加棚板料金」に、B 13 の「追加棚板枚数」を掛けて求める。なお、B 10 が 2 の場合は、「一枚あたりの追加棚板料金」に100円を加算する。ただし、B 10、B 13 が未入力、または、D 10 が NG の場合は何も表示しない。
 - D 23 の「配送料金」は、B 16 の「配送地域コード」をもとに、シート名「配送料金表」を参照して表示する。
 - D 24 の「納期割増料金 (10%)」は、B 17 の「希望配送日」が、本日を含めて 7 日以内の場合は、D 20 の「標準料金」と D 21 の「奥深割増料金 (50%)」の合計の10% の金額を表示し、それ以外の場合は 0 を表示する。
 - D 25 の「請求金額」は、D 20 の「標準料金」から D 24 の「納期割増料金 (10%)」までの合計を求める。

問 1. シート名「本棚製作料金計算表」の D10 には次の式が設定されている。この式と同様の結果が得られる適切な式を答えなさい。

=IF(B10="", "", IF(B10=1, "標準", IF(B10=2, "奥深", "NG")))

- ア. =IF(B10="", "", IF(NOT(AND(B10=1, B10=2)), "NG", IF(B10=1, "標準", "奥深")))
- イ. =IF(B10="", "", IF(OR(B10=1, B10=2), "NG", IF(B10=1, "標準", "奥深")))
- ウ. =IF(B10="", "", IF(NOT(OR(B10=1, B10=2)), "NG", IF(B10=1, "標準", "奥深")))

問 2. シート名「本棚製作料金計算表」の D17 に設定する式の空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

=IF(B17="", "", IF(, "NG", "OK"))

- ア. D3-B17<3
- イ. B17-D3<3
- ウ. B17-D3>3

問 3. シート名「本棚製作料金計算表」の D20 に設定する式の空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

=IF(OR(B6="", B8="", B10="", D6="NG", D8="NG", D10="NG"), "", INDEX(標準料金表!C5:F8, MATCH((a)), MATCH((b))))

- ア. (a) B6, 標準料金表!A5:A8, 1 (b) B8, 標準料金表!C4:F4, 1
- イ. (a) B8, 標準料金表!C4:F4, 1 (b) B6, 標準料金表!A5:A8, 1
- ウ. (a) B6, 標準料金表!C4:F4, 1 (b) B8, 標準料金表!A5:A8, 1

問 4. シート名「本棚製作料金計算表」の D22 に設定する式を答えなさい。

- ア. =IF(OR(B10="", B13="", D10="NG"), "", IF(B10=1, HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)*B13, (HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)+100)*B13))
- イ. =IF(OR(B10="", B13="", D10="NG"), "", IF(B10=2, HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)*B13, (HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)+100)*B13))
- ウ. =IF(OR(B10="", B13="", D10="NG"), "", IF(B10=1, (HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)+100)*B13, HLOOKUP(B8, 標準料金表!C4:F9, 6, TRUE)*B13))

問 5. シート名「本棚製作料金計算表」に、次のようにデータを入力したとき、D25の「請求金額」に表示される適切な数値を計算して答えなさい。

	A	B	C	D	E
1					
2			本棚製作料金計算表		
3				2011年1月30日	
4					
5		入力欄		確認欄	
6	高さ	190 cm		OK	
7					
8	幅	100 cm		OK	
9					
10	奥行コード	1		※	
11			標準棚板枚数	4 枚	
12					
13	追加棚板枚数	2 枚			
14					
15	配送地域・配送日				
16	配送地域コード	2	配送地域	※	
17	希望配送日	2月5日		OK	
18					
19	請求金額計算				
20		標準料金		※	
21		奥深割増料金 (50%)		※	
22		追加棚板料金		※	
23		配送料金		※	
24		納期割増料金 (10%)		※	
25			請求金額	※	

(注) ※印は、値の表記を省略している。

問2. 登録表に追加登録する場合、空欄(a), (b)にあてはまる適切な組み合わせを答えなさい。

〔登録内容〕 登録番号 : A343
 生徒コード : 10630
 登録日 : 2011年1月21日
 色コード : 6

(a)	登録表	(b)	('A343', '10630', '20110121', '6')
-----	-----	-----	------------------------------------

- ア. (a) UPDATE (b) SET
イ. (a) INSERT INTO (b) VALUES
ウ. (a) INSERT INTO (b) SET

問3. 通学用自転車を2台以上登録している生徒を抽出する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。

```
SELECT  登録表.生徒コード, 氏名, COUNT(*) AS 複数登録台数
FROM    生徒表, 登録表
WHERE   生徒表.生徒コード = 登録表.生徒コード
GROUP BY 登録表.生徒コード, 氏名
        COUNT(*) >= 2
```

- ア. DISTINCT イ. BETWEEN ウ. HAVING

問 4. 通学用自転車を登録していない生徒を抽出する場合、空欄にあてはまる適切なものを答えなさい。なお、生徒表は全校生徒のデータである。

```
SELECT 生徒コード, 氏名
FROM    生徒表
WHERE   生徒コード NOT IN (  )
```

- ア. SELECT 登録番号 FROM 登録表
イ. SELECT 生徒コード FROM 登録表
ウ. SELECT 生徒コード FROM 生徒表

問5. 色コードごとの登録台数を男女別に集計するために次のSQL文を実行した。この結果として最も適切なものを答えなさい。

```
SELECT 性別, 色表.色コード, COUNT(*) AS 登録台数
FROM    生徒表, 登録表, 色表
WHERE   生徒表.生徒コード = 登録表.生徒コード
AND     登録表.色コード = 色表.色コード
GROUP BY 性別, 色表.色コード
ORDER BY 性別 DESC, 色表.色コード ASC
```

- ア.

性別	色コード	登録台数
M	1	45
M	2	156
}	}	}
F	1	82
F	2	39
}	}	}

- 1.

性別	色コード	登録台数
F	7	10
F	6	187
}	}	}
M	7	53
M	6	229
}	}	}

- ウ.

性別	色コード	登録台数
M	7	53
M	6	229
}	}	}
F	7	10
F	6	187
}	}	}

(平成23年 1 月30日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第44回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記 解 答 用 紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

【4】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

【5】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5
					円

【6】	問 1	問 2	問 3	問 4	問 5

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計

(平成23年1月30日実施)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第44回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 筆記

審 査 基 準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	エ	サ	イ	ケ	

【2】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	オ	イ	カ	ア	コ	

【3】	1	2	3	4	5	各3点 計15点
	イ	ア	ア	ウ	ウ	

【4】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	ウ	イ	イ	ウ	

【5】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ウ	イ	ア	ア	20,100円	

※「,」なしも可。

【6】	問1	問2	問3	問4	問5	各4点 計20点
	ア	イ	ウ	イ	ア	

試 験 場 校 名	受 験 番 号

得 点 合 計
100

2011年 1 月30日 実施

平成22年度（第44回）
情 報 処 理 検 定 試 験
〈ビジネス情報部門〉
第 1 級 実技試験問題

注 意 事 項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 監督者の指示にしたがって、シート 4 の A 1 のセルに試験場校名
および受験番号を入力してください。
3. 試験問題は 2 ページあります。
4. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
5. 制限時間は30分です（印刷時間は含みません）。
6. 印刷は監督者の指示にしたがって、シート 4 を 1 ページで印刷して
ください。

あるサンドウィッチ販売店は、4種類の商品を販売している。2009年～2010年の売上データを用いて、最近の売上傾向を分析したい。処理条件にしたがって、シート1からシート4を作成しなさい。なお、各シートの※印の部分は資料をもとに入力し、※※印の部分は関数やアプリケーションソフトのデータ集計機能などの利用および各自の分析結果により作成すること。

資料1 商品表

商品コード	商品名	単価
K	カツ	330
E	タマゴ	280
H	ハム	320
Y	野菜	300

資料2 売上表

日付コード	商品コード	売上数量
20090105	K	33
20090105	E	18
20090105	H	38
20090105	Y	14
}	}	}
20101231	H	29
20101231	Y	25

処理条件

- 表の形式および体裁は、次ページのシート1からシート4を参考にして設定する。
設定する書式：罫線，列幅，数値につける3けたごとのコンマ
- シート1は、次のように作成する。
「商品表」の※印の部分は、資料1のデータを入力する。なお、商品コードおよび単価は半角英数字である。
- シート2は、次のように作成する。
 - 検定試験開始前に提供されたデータを使用する。
 - B列の「年」の※※印の部分は、A列の「日付コード」の左端から4文字を抽出する。
 - C列の「月」の※※印の部分は、A列の「日付コード」の左端から5けた目より2文字を抽出する。
 - E列の「商品名」は、D列の「商品コード」をもとに、シート1の「商品表」を参照して表示する。
- シート3は集計作業用シートで、シート4の作成に必要なデータを集計するために、自由に利用する。
- シート4は、次のように作成する。
 - 「1. 全商品の売上集計表」は、次のように作成する。
 - 6行目の「単価」は、5行目の「商品名」をもとに、シート1の「商品表」を参照して表示する。
 - 7, 8行目の「売上数量」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - 9行目の売上数量の「増減率」は、商品名ごとの「2009年」に対する「2010年」の増減率を求める。ただし、％表示で小数第1位まで表示する。
D9の設定例 D8/D7-1
 - 10, 11行目の「売上金額」は、商品名ごとの売上数量に単価を掛けて求める。
 - 「2. 野菜サンドの月別売上数量集計表」は、次のように作成する。
 - C列の「2009年」とD列の「2010年」は、シート3から必要な部分をコピーして、値を貼り付ける。
 - E列の「2010年累計」は、「2010年」の1月からその月までの売上数量の合計を求める。たとえば、2月の「2010年累計」は2010年1月から2010年2月まで、3月の「2010年累計」は2010年1月から2010年3月までの売上数量の合計を求める。
 - F列の「移動合計」は、その月を含む過去12か月間の売上数量の合計を求める。たとえば、1月の「移動合計」は2009年2月から2010年1月まで、3月の「移動合計」は2009年4月から2010年3月までの売上数量の合計を求める。
F15の設定例 C\$27-SUM(C\$15:C15)+E15
 - 「3. 野菜サンドの売上傾向分析結果」のB30は、作成する「野菜サンドの売上傾向」グラフおよび「1. 全商品の売上集計表」の「増減率」を分析し、増加，停滞，減少のいずれかを入力する。
 - 「2010年の売上金額割合」の円グラフは、「1. 全商品の売上集計表」のデータから作成する。なお、円グラフの※※印の部分は、割合を％表示で小数第1位まで表示する。
 - 「野菜サンドの売上傾向」の折れ線グラフ（Zグラフ）は、「2. 野菜サンドの月別売上数量集計表」の「2010年」，「2010年累計」，「移動合計」のデータから作成する。
 - グラフの※※印の部分は、折れ線グラフの線および凡例を表示する。
 - グラフの数値軸目盛は、最小値(0)，最大値(7,500)および間隔(1,500)を設定する。
 - シート4を報告書として、1ページにおさまるように調節する。

	A	B	C
1			
2	商品表		
3	商品コード	商品名	単価
4	K	※	※
5	E	※	※
6	H	※	※
7	Y	※	※

(シート1)

	A	B	C	D	E	F
1						
2	売上表					
3	日付コード	年	月	商品コード	商品名	売上数量
4	20090105	2009	01	K	カツ	33
5	20090105	2009	01	E	タマゴ	18
6	20090105	2009	01	H	ハム	38
7	20090105	2009	01	Y	野菜	14
8	∅	∅	∅	∅	∅	∅
2066	20101231	※※	※※	H	※※	29
2067	20101231	※※	※※	Y	※※	25

(シート2)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	合計 / 売上数量		商品名				
3	年	月	カツ	タマゴ	ハム	野菜	総計
4	2009	01	768	※※	888	389	2543
5		02	※※	※※	※※	※※	※※
6		03	※※	※※	※※	※※	※※
7		04	※※	※※	※※	※※	※※
8		05	※※	※※	※※	※※	※※
9		06	※※	593	※※	464	※※
10		07	※※	※※	※※	※※	※※
11		08	※※	※※	※※	※※	※※
12		09	※※	※※	※※	※※	※※
13		10	※※	※※	※※	※※	※※
14		11	※※	※※	※※	※※	※※
15		12	※※	※※	※※	※※	※※
16	2009 集計		9683	※※	※※	5387	31039
17	2010	01	※※	※※	※※	481	※※
18		02	※※	※※	※※	※※	※※
19		03	※※	※※	※※	※※	※※
20		04	※※	※※	※※	※※	※※
21		05	※※	※※	※※	※※	※※
22		06	※※	655	※※	572	※※
23		07	※※	※※	※※	※※	※※
24		08	※※	※※	※※	※※	※※
25		09	※※	※※	※※	※※	※※
26		10	※※	※※	※※	※※	※※
27		11	※※	※※	※※	※※	※※
28		12	559	※※	574	※※	2441
29	2010 集計		7686	※※	※※	6802	※※
30	総計		17369	※※	※※	12189	※※

(シート3の利用例)

A	B	C	D	E	F	G
---	---	---	---	---	---	---

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

商品別売上傾向分析表

1. 全商品の売上集計表

	商品名	カツ	タマゴ	ハム	野菜
	単価	330	※※	※※	※※
売上数量	2009年	9,683	※※	※※	※※
	2010年	※※	※※	※※	6,802
	増減率	※※	13.5%	※※	※※
売上金額	2009年	※※	1,933,680	※※	※※
	2010年	※※	※※	2,372,800	※※

2. 野菜サンドの月別売上数量集計表

月	2009年	2010年	2010年累計	移動合計
1	389	481	481	5,479
2	※※	543	1,024	5,592
3	※※	※※	※※	※※
4	※※	※※	※※	※※
5	※※	※※	※※	※※
6	464	572	3,339	6,101
7	※※	※※	※※	※※
8	※※	※※	※※	※※
9	※※	※※	※※	※※
10	※※	※※	※※	※※
11	※※	※※	※※	※※
12	※※	※※	6,802	※※
合計	※※	6,802		

3. 野菜サンドの売上傾向分析結果

※※ 傾向といえる。

2010年の売上金額割合

野菜サンドの売上傾向

(シート4)

主催 財団法人 全国商業高等学校協会

平成22年度（第44回）情報処理検定試験ビジネス情報部門 第1級 実技
審 査 基 準

	A	B	C	D	E	F	G
1	商品別売上傾向分析表						
2							
3	1. 全商品の売上集計表						
4							
5			商品名	カツ	タマゴ	ハム	野菜
6			単価	330	280	320	300
7			2009年	9,683	6,906	9,063	5,387
8			2010年	7,686	7,835	7,415	6,802
9			増減率	-20.6%	13.5%	-18.2%	26.3%
10			2009年	3,195,390	1,933,680	2,900,160	1,616,100
11			2010年	2,536,380	2,193,800	2,372,800	2,040,600
12							
13	2. 野菜サンドの月別売上数量集計表						
14			月	2009年	2010年	2010年累計	移動合計
15			1	389	481	481	5,479
16			2	430	543	1,024	5,592
17			3	469	596	1,620	5,719
18			4	415	584	2,204	5,888
19			5	458	563	2,767	5,993
20			6	464	572	3,339	6,101
21			7	486	582	3,921	6,197
22			8	383	518	4,439	6,332
23			9	470	589	5,028	6,451
24			10	463	571	5,599	6,559
25			11	452	591	6,190	6,698
26			12	508	612	6,802	6,802
27			合計	5,387	6,802		
28							
29	3. 野菜サンドの売上傾向分析結果						
30			増加	傾向といえる。			
31							
32	注1 (2010年の売上金額割合)						
33	注2 野菜 22.3%						
34	カツ 27.7%						
35	タマゴ 24.0%						
36	ハム 26.0%						
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							

注4 野菜サンドの売上傾向

注5 売上数量

注6 2010年 2010年累計 移動合計

注7 月

配点

- ①表の作成 () の箇所) 5点×12箇所=60点
- 注 罫線は含まない。数値は、3けたごとにコンマをつけていること。
- ②罫線 1. 全商品の売上集計表 5点× 1箇所= 5点
- ③グラフの作成 () の箇所) 5点× 7箇所=35点
- 注1 グラフタイトルは、文字および位置(グラフの上側)が正しく設定されていること。
- 注2 データラベルは、分類名が野菜であり、野菜のみが切り離されていること。
- 注3 データラベルは、パーセンテージ(24.0%)が正しく表示されていること。
- 注4 数値軸目盛は、最小値(0)、最大値(7,500)および間隔(1,500)が正しく設定されていること。
- 注5 数値軸ラベルは、方向、文字が正しく設定されていること。
- 注6 種類は、マーカーが付けられた折れ線グラフで表示され、3本の折れ線が接していること
(マーカーの種類は問わない、4本以上の折れ線がある場合は不可)。
- 注7 凡例は、位置(グラフの下側)、順序および文字が正しく設定されていること。

※ 審査にあたっては、「審査上の注意事項」をあわせて参照してください。